

平成28年度 公立保育所

保育所の自己評価

平成20年3月に告示された保育所保育指針(以下、「保育指針」という。)において、保育士等及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務として位置付けられました。保育施設として、その運営や保育内容等について保護者の皆様や地域の皆様に説明することは、保育所の重要な責務です。このことを踏まえ、公立保育所では保育の質の向上を図るために利用者調査を実施するとともに、保育所の自己評価を実施いたしました。

今後は、評価の結果を踏まえ当該保育所において保育内容等の改善を図るとともに、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がより強固なものとなるようにしてまいります。

【評価対象期間】

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

【評価責任者】

八王子市こども家庭部子育て支援課
津久田 保育園

施設長 杉本 浩恵

1. 人権尊重

子どもの人権条約の遵守、ならびに本市が制定した「すこやか宣言」を尊重し、子どもの最善の利益を追求する。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1)子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	83%	子ども一人ひとりの気持ちを受容し、寄り添い子どもの気持ちをくみ取ることの大切さを全職員が同じ姿勢に立ち保育園作りをしていくようにした。日ごろから子ども達が自由に発言が出来るような雰囲気作りを心がけている。子どもが発言した言葉と表情に丁寧な受け答えをしている。保護者より一部の保育士が人権に対する配慮がないとの指摘を受ける。このことを受け、全職員に周知するとともに、園内研修にて再度論議し徹底するようにした。
(2)性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	90%	性差への先入観を植え付けるような保育や言葉かけをしないなど、偏見を持たせないように十分配慮している。男女が関係なく一緒に楽しく遊び込めるような保育をしている。

2. 説明責任

保護者や地域の子育て家庭に、保育所の役割や保育内容について情報提供をする。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1)理念や基本方針が利用者等に周知されている。	88%	入園時には必ず基本理念を説明している。クラスの中では、毎年度懇談会などで話をするようにしている。保育の方針は玄関にかかげ保護者の目につきやすい場所に掲示し発信している。
(2)保護者が意見を述べやすい体制が確保されている。	90%	保護者の方との信頼関係を築くなかで、話がしやすい関係作りを心がけて応じてきた。(園長・副園長を中心に)

3. 情報保護

保育にあたり知り得た子どもや保護者の情報は、正当な理由なく漏らしてはならない。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1) 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	89%	公務員としての守秘義務を守るとともに、個人情報に関わることは園内であっても発してはいけない事は臨時職員も含めて再三にわたり注意喚起している。外部にも漏れないようにすることは、当然のことであるが、利用者調査票の中で保護者に指摘される。職員の意識の徹底を図る必要がある。 書類などについては、外部の人などの目につく所には置かない、鍵のかかる所に保管している
(2) 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	89%	情報に関する取扱いの研修にて意識を高めて理解している。

4. 苦情処理

保護者からの信頼を高め、福祉サービスの質の向上に向けた取り組みの一環として、保護者等からの苦情や意見等に対して、迅速に対応を進める。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	94%	保護者からの意見は迅速に対応し、真摯に受け止め再発防止に努める。職員間で情報共有し、原因、見直し、課題、解決方法を明確にしている。事案があった場合は次の日の朝の打ち合わせで全体での確認をする。職員によっては認識についての理解度に温度差があるので引き続き徹底していくことが課題である。
(2) 苦情解決の仕組みが確立され、十分に周知・機能している。	87%	苦情処理の仕組みは入園時に丁寧に説明しており、保護者の見やすい所に掲示し周知をはかっている。

5. 保育内容

一人ひとりの子どもの置かれている状態、及び家庭・地域社会における生活の実態を把握するとともに、子どもを温かく受容し、適切な保護・世話を行い、子どもが安心感と信頼感をもって活動できるようにする。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1) 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	99%	保育課程に基づき保育計画を作成している。子どもの育ちを受け止め、より良い保育計画を作成し実践できるようにしている。子どもに経験してほしい活動を計画し実施している。(5歳児クラスの光る泥団子作り、図書館の利用、ディサービスなど) 日常保育の中や懇談会などで保護者の意向を伺ってはいるが、反映しきれないことは課題である。
(2) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を改定している。	87%	毎月の保育計画や日誌で保育の振り返りを行っているが、次の月につながっていけるように指導している。自己評価については担当クラスの担任が毎月提出したものを助言と見直しを提案するようにしている。
(3) 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	88%	一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添い関わっている。休み明け、病み上がりなどの時にはゆったりできる環境を設定している。大人目線での声かけをしてしまう保育士もいるので、その都度、どういう言葉かけが適切であるのか共に考え直していく機会を持つようになってきている。
(4) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	90%	環境設定への配慮については行ってきたが、制限される部分も見られる。今後もその時々の子どもの姿を把握し、やりたいことが直ぐにできるように環境を整えていく必要がある。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(5) 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	90%	一人ひとりの子どもの要求に応じ、無理強いせずことなく子どものあるがママを受け入れ対応するようにしている。待つこと、いっぱい褒めることによって自己肯定感を培っていくことを前提に考えられるような保育の姿勢については課題である。
(6) 身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。	95%	ジャガイモ堀、野菜作り、収穫体験、花の栽培(水栽培)など経験している。散歩に出掛け四季の自然や身近な動物やお花などに興味を持てるような言葉かけと実体験をしている。サービスセンターとの交流については、定期的には実施されていないので、積極的なかかわりが課題である。
(7) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	97%	年齢に応じた表現活動が楽しめるような環境設定をしている。子どもが遊びたいときに手に届く楽器の置き場所の検討は必要である。保育の工夫や年齢に合わせたおもちゃの適正さという面では、子どもが楽しめているのか考えていく必要がある。
(8) 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	98%	子どもとの一対一での関わりや集団での関わりなどを通して、言葉かけの仕方、場面場面での対応の仕方等、“どうしたらよいのだろうか？”と考える中で人間関係が育つように配慮している。
(9) 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	89%	一人ひとりの子どもの生活リズムに合わせて、ゆったりした保育を行っている。保育室の環境面においては、清掃は行き届いているが、おもちゃの配置・物の配置の面での乱雑が見られ整理整頓が必要である。SIDSに関しては、看護師と勉強するなどの、もう少し細やかな情報共有が必要である。

16. 食育

食事は子どもの身体的成長の基本であり、心豊かに食を楽しみ、自然の恵みに感謝し、子どもの命を守る大切な事項である。年齢にあった調理方法や栄養のバランスはもとより、食習慣の確立・栄養教育・心の健康づくりという目的に応じて一人ひとりの子どもに配慮する。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1) 食育を通して、こどもたちが食事を楽しむことができる工夫をしている。	98%	0歳児クラスについては、栄養士や調理師と話し合いながら、子どもが食べやすい形状や食材にするなど細かな配慮をし、楽しく食事ができるようにしている。他のクラスについても、子どもの状況に合わせて無理強いすることなく、食事が楽しく出来るようにしている。 津久田保育園の食育計画により、3.4.5歳児クラスに対し、食に対する興味関心を高めるため、調理員と連携し、食育絵本の読み聞かせ、野菜の皮むき、盛り付け体験、調理器具の使い方体験など実施している。
(2) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	98%	保護者試食会を年間実施し、レシピの配布・給食通信の配布など行っている。栄養士・調理員が中心となり、旬の野菜や収穫物、行事食など玄関入り口廊下に展示し、子どもや保護者に発信し提供している。この場所が降園の際に親子の会話のひと時になっている。
(3) 食物アレルギーは、個別に配慮し食事を提供している。	96%	アレルギーについては、朝の打ち合わせ時に調理員と職員(臨時職員も含め)確認をしっかりと行い、提供する際は担当同士で二重三重の確認をして誤食のないようにしている。献立の検討も、保護者・栄養士・担任・園長で行い双方で確認をしている。
(4) 文化、習慣の違いなどの個別に配慮した食事を提供している。	100%	文化、習慣の違いなどで保護者からの申し出があった時には、双方での確認後行っていくようにする。

6. 要保護児童への対応

児童虐待の兆候を見逃さないよう、保護者や子どもの様子に細心の注意を図る。万が一、虐待が疑われるような場合には、情報が施設長に必ず届くような体制を整えている。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1) 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届くようになっている。	92%	朝の視診や日常の保育の中で観察し、子どもからのサインも逃がさないようにしている。傷跡など気づいた時には職員間で情報を共有し会議などで報告、対策を取るようになっている。 虐待への意識づけ、研修などを通じて行われている。
(2) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について児童相談所等の関係機関に照合、通告を行う体制が整っている。	92%	子ども家庭支援センター中心に、保健センターともに情報に関する体制を整えている。定期的にマニュアルの確認を含めた園内研修を実施し、一人ひとりの意識を高めておく。

7 特別な支援を要する子どもへの対応

インクルージョンを基本に保護者や職員間で共通認識を持ち、巡回発達相談員、専門機関と連携しながら、子どもの発達を保証する。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1) 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	100%	新しい園舎になり、バリアフリーの改善や2階へのエレベーター設置などで車いすのお子さんにも出入りがしやすいようになる。テラスへの出入りはスロープなどで工夫する。 個々に合わせた指導計画を立案し、ひとり一人に合った保育を行っている。保護者の方とは連携を密にとりその子が過ごしやすい保育を行っている。 臨床発達心理士の資格を持つ職員の配置がされ、ひろば事業や自園での支援の必要なお子さんへの対応が出来るようになる。

8. 家庭福祉員への支援

子育てや関連機関に関する情報を交換するとともに、保育所施設の提供、研修等の支援、保育の補完など支援していく。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1)地域における子育て支援の情報や保育園の行事への参加をよびかけている。	100%	子ども支援担当を中心に訪問や地域情報の提供などの実施、子育て相談などに応じている。 園行事への参加も呼びかけ、園庭での遊びができるようにしている。
(2)児童福祉員の保育の補完を支援している。	92%	情報提供や教材の貸し出しなどを行っている。 情報提供の面で福祉員さんの求めていることと一致しないこともあり、双方での話し合いで関わり方を検討をする必要がある。
(3)研修への参加を呼びかけ、情報の交換をする。	100%	積極的に出向き、様々な情報提供を行ったり研修情報などを知らせている。

9. 在宅子育て家庭への支援

多様な子育てニーズや地域の住民が求める援助を把握し、それに基づいた事業・取組を実施していく。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1)地域の福祉ニーズを把握している。	100%	保幼小の連携や子ども家庭支援センターが実施する会議に参加し、地域の特性などを把握している。 利用者調査を実施し保護者からの保育ニーズの把握に努め、改善をしている。
(2)地域の福祉ニーズに基づく事業・取組が行われている。	100%	新園舎でのひろばの開設や一時保育を実施し、利用者が増加傾向にある。今後は、支援の必要なお子さんも気軽に参加できるひろばとして、特色をもったひろば事業を展開していく。

10. 健康支援

子どもの健康状態、ならびに発達状態を把握する。また、疾病への対応は適切に行い、保護者ならびに全職員に周知し、必要に応じて関係機関も含め情報を共有する。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1)登所時や保育中の子どもの健康管理はマニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	99%	各クラスの受け入れ時の視診とともに、保健師が子どもの健康状態を把握している。全クラスで健康観察票を毎日つけており、子どもの状況を確認できている。 子どもの体調変化は、保護者と連絡を取り合いその日の過ごし方を確認、し配慮をするようにしている。
(2)健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	96%	年間に2回、内科検診を実施し、結果については保護者に伝え、対応している。 0歳児については、毎月第3水曜日に嘱託医が来園し検診と情報・意見交換を行っている。保育士を含めてのカンファレンスを開くまでにはいたっていない現状がある。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(3) 歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保護者に反映させている。	56%	年回に1回、歯科検診を実施し、結果については保護者に伝え、対応している。 食後の歯磨き指導については、実施はしていないが、食後はお茶を飲む、口をゆすぐなどで、口の中を清潔に保つように徹底している。
(4) 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者に通知している。	99%	感染症の流行については、保健師がデータ収集や園医からの情報提供をもらい、職員に周知し朝の視診時に保護者にも伝えている。 発生状況により、遊具・室内の消毒を行う。

1 1. 環境・衛生管理

施設的环境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備、用具等の衛生管理に努める。また、子どもおよび職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持向上に努める。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1) 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	95%	新園舎になり室内環境や採光、室内換気、衛生面も整っている。清掃については毎日、衛生面には気を付け、丁寧に行っている。用務員を中心に安全点検も実施している。保育室内の整理整頓については各クラス保育士に委ねるが、整理されていないところがあり、今後徹底していく必要がある。
(2) 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	96%	子どもの不安な気持ちを取り除けるように配慮し、対応している。戸外での活動を取り入れ、子どもの気持ちを発散することが出来るように配慮をしている。 保護者からの指摘もあり、子どもに対する保育士の姿勢を個々が振り返る必要性はあり、日々子どもが安定して過ごせるように、保育士の声のトーンも控えるなど考えながら保育にあたる必要がある。

12. 保護者への支援

保護者との信頼関係を築き、子どもの最善の利益を考慮した保育ができるよう、育児相談や懇談会・家庭連絡等を充実する。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1)一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っている。	95%	年間行事予定表を4月には配布し、保育参観・懇談会・個人面談の日程を記載し、前もって予定がわかり参加しやすいように工夫した。今年度は保育参観週間として期間を設け実施したが、参加者が少なかったことは今後の課題になる。送迎の際に、その日の子どもの様子とともに、良い所も伝えられるように職員には指導している。保育の様子が見えるような内容のクラスだよりを作成するように、担当とともに考え取り組むが徹底するまでに至っていない。
(2)家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	94%	情報交換の内容は、必要に応じて保育日誌などに記載するとともに、職員間での情報共有を図るようにしている。記録については、不十分なところも見られ検討課題である。
(3)子どもの発達や育児等について、懇談会等の話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	96%	各クラスでの懇談会は年間計画の中で実施している。懇談会では保育内容の話の他に、保護者間の交流もできるように計画している。個人面談、保育参観も実施している。

1 3. 研修計画

保育の質の向上のために定めた目標に向け、組織として目的意識をもった研修計画を策定し、その基本姿勢を計画の中に明示すると共に取組みを実施する。また、全市的な視点をもって資質向上の取組みをする。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1) 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	90%	八王子市としての基本計画に明示しており、保育所職員としての研修も計画されている。
(2) 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組みが行われている。	89%	勤務年数に応じた研修計画に基づき、研修が実施されている。保育士としての専門研修にも積極的に参加するようにしている。研修資料などの回覧により共有できるようにしている。
(3) 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	73%	研修に参加しレポートなどを作成し報告する。内容について正規職員間の中では会議等で報告し合え、保育の中に生かされている。職員全体までの発表が出来きれていないところが課題である。
(4) 資質向上の取組みを全市的に行っている。	98%	八王子市独自の取組みとして、スキルアップ研修で「子ども支援ワーカー」を取得できるような研修内容を実施している。取得した者はより専門性を保育に生かしている。保育従事者研修、インクルージョン保育の面でも研修機会を設けている。(用務員、調理員も同様) 栄養士、看護師、保健師など専門的分野の研修の機会も設けられ参加している。

14. 小学校との連携

子どもの連続的な発達などを考慮して、互いに理解を深めるようにするとともに、子どもが就学に期待感を持ち自信と積極性を持って生活できるようにする。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1) 小学校との間で、小学生と園児とが行事などで交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携体制が整備されている。	95%	4月から近隣小学校との職員間での交流を持ち情報交換を行う。プール体験、学芸会参観、授業体験、校長先生が保育園懇談会に参加するなど連携を深めている。また保幼小連携の日には、短時間ではあったが教員との意見交換をした。 課題として、5年生との交流・保育園に小学生がきての交流など、内容の検討が必要である。

15. 地域との交流

保育所が地域社会の一員としての社会的役割を果たすと共に、地域の協力の中で子どもが育つような取組を行う。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1) 地域との関係が適切に確保されている。	83%	地域の方々とともに、地域に根差した保育所となるように行事などに呼びかけ交流を持つようにしている。民生委員の方にはひろば事業のボランティアをしていただいている。中高生等の職場体験も受け入れている。
(2) 保育所が有する機能を地域に還元している。	71%	保育所やひろばの情報をホームページで掲載し、ちらしやポスターなどを掲示している。地域のひろば事業などで誘い、ひろばに遊びにきたり一時保育を利用する方も増えている。
(3) ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	65%	積極的にボランティアを受け入れ、行事やひろばでの応援や夕方の時間に来ていただき関わっている。(Bネット、法政大学、家政大学、民生委員など) 保育所という施設がらボランティアの方に意義・方針などを明確化はしているが、研修までは出来きれていない現状がある。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(4) 関係機関等との連携が適切に行われている。	96%	子ども家庭支援センターを中心とした関係機関などと連携ができている。
(5) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	89%	各機関とは、保幼小連絡協議会やネットワーク会議などで連携を図るようにしているが中々広める事が出来ないことが課題である。
(6) 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	96%	今年度、3月に中学生を対象に「命の授業」を実施する。ひろばに来ている乳幼児の親子を誘い子育て講座として好評を得ることができた。今後も継続していけるように検討をしていく。

17. 安全対策・事故防止

災害や事故の発生に備え日常点検や避難訓練を実施すると共に、外部からの不審者等の侵入防止のための措置や訓練など、不測の事態に備えて必要な対応を図る。また、保育中の事故防止のために保育所内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図る。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1)調理場、水回り等の衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	80%	調理場は衛生管理マニュアルに沿って、毎日衛生管理に努めている。水質管理は月に2回実施している。各部屋や戸外などの水回り場についても、毎日もしくは定期的に衛生管理に努めている。
(2)事故防止等のチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	75%	大きなけが、事故がおきた時には、職員間で原因の追究・現場検証などを行い、再発防止のため未然防止策を検討している。全体での検討が出来きれていないのが課題である。子ども達に対する安全教育をその都度実施している。今後、職員に対し「ヒヤリ・ハット」などの事例を用い、事故防止の発生要因の分析などを検討していく必要がある。

18. 長時間保育の配慮

長時間にわたる保育にふさわしい環境を整備し、子どもが安心して過ごせるように配慮する。

小分類	評価結果	評価の根拠・具体的事例および改善方法
(1)長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	97%	0歳児クラス・1.2歳児クラス・3.4.5歳児クラスに分け保育にあたり、一人ひとりがゆったりと過ごせる環境を整えている。担当保育士への伝達(体調面など)を漏れなく行い、保護者に伝わるようにしている。子どもの興味に応じて遊具の用意をしている。今後玩具の補充や保育内容について過ごし方の工夫など検討課題である。